

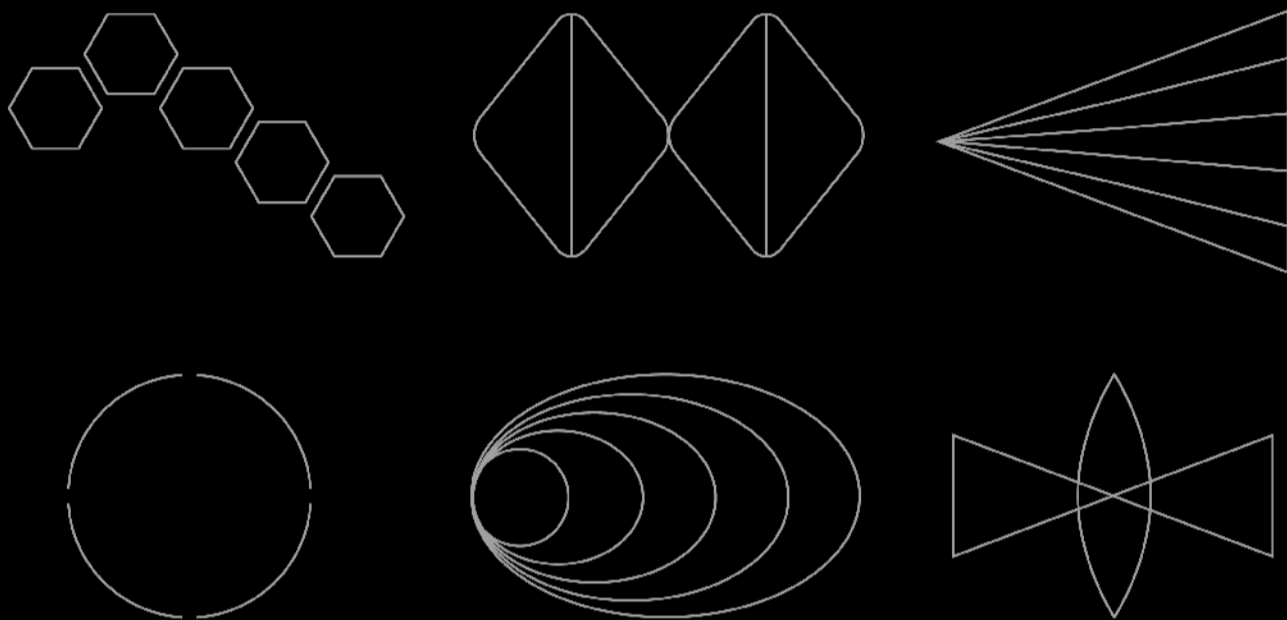
# KYOTO Design Lab Mini Symposium with the Design Researcher-in-Residence 2019

## デザインリサーチャー・イン・レジデンス

**複雑に自然物と人工物がからみあう  
 未来の社会を対象とした  
 ラディカルなデザインリサーチの可能性を探る**

Theme

### Some Recent Agendas in Design Research: Transitional, Circular, Speculative and Discursive デザインリサーチの展望



Schedule

**Tuesday 18 June, 2019 17:00–19:00**  
**2019年6月18日[火] 17:00–19:00**

Venue

**Hall, KYOTO Design Lab**  
**KYOTO Design Lab 2F ホール**

Summary

現在、ニューヨークのParsons School of Design在学中で、6月1日からKYOTO Design Labにて滞在制作・研究をおこなう岩淵正樹と、4月1日から着任した水野大二郎によるデザインリサーチの展望について議論するミニ・シンポジウムを開催いたします。

2014年、デザイン誌「AXIS」168号で「デザイン思考の誤解」が特集されてから約5年経ちました。現在ではデザイン思考ブームも一段落し、その有効性と限界が明らかとなる一方、デザインリサーチに関する学会では新たなデザイン理論や手法が登場し、デザイン思考の次の次が模索されています。

そこで本ミニ・シンポジウムは複雑に自然物と人工物がからみあう未来の社会を対象としたラディカルなデザインリサーチについて議論します。既存の未来志向型デザインリサーチに加え、京都の文化的特性を生かして「歴史から現在を逆照射した上で未来を思索する」可能性について議論を広くおこないたいと思いますので、スペキュラティブ・デザインの曖昧さやデザイン思考の限界にご興味がある方、デザインリサーチの新たな可能性を追求したい方、ぜひご参加ください。

Speaker

**Masaki Iwabuchi** [Parsons School of Design / 2019 Design Reseacher-in-Residence]  
 岩淵正樹 [パーソンズ美術大学 / 2019年度デザインリサーチャー・イン・レジデンス]

**Prof. Daijiro Mizuno** [KYOTO Design Lab]  
 水野大二郎 特任教授 [KYOTO Design Lab]

[公開ミニ・シンポジウム]

**事前申込不要**  
**聴講自由・先着順**  
**定員=50名程度**